

立川飛行場の概要

	陸上自衛隊	警視庁	東京消防庁
敷地面積	約 84.5ha		
利用開始月	昭和57年3月(※1)	平成2年7月	平成6年9月
編成(名称等)	東部方面航空隊(ヘリコプター隊、管制気象隊、航空野整備隊等)第一飛行隊、駐屯地業務隊等	警視庁航空隊	東京消防庁航空隊
滑走路の規模	1,200m×45m(場外離着陸場約300m含む)		
主な常駐機(ヘリコプター) (機種・名称等)	UH-1(中型、物資・人員輸送) OH-6(小型、偵察・観測)	はやぶさ(小型) おおとり(中型) おおぞら(大型)	ドーファンⅡ(中型) スーパーピューマ(大型) EC225(大型)
所在地	立川市緑町5番地	立川市緑町3567番地	立川市泉町1156番地の1
電話	042-524-9321	03-3581-4321(代)	042-521-0190
<p>※1 : 新立川飛行場の運用開始。(東京防衛施設局長(当時)と立川市長は、飛行場運用開始に伴う事前協議の中で、(1)飛行時間帯(特別の場合を除き、午前8時から午後8時まで)、(2)離着陸回数(一日平均概ね50回)、(4)飛行経路及び飛行場周辺の飛行要領(飛行高度については、飛行場敷地境界付近1,000ft(約330m)、立川市内上空1,500ft(約450m)～1,800ft(約540m))等を取り交わしています。</p> <p>その他、海上保安庁所属機(ヘリコプター)、航空自衛隊入間基地所属機(C-1輸送機)についても、慣熟訓練のため飛来することがある。</p>			